

2019/4/8版

衣笠 2019年度 公務員講座

外務省専門職講座
(教養科目) シラバス



エクステンションセンター

Syllabus

科目	人文科学
担当講師	永田 幸三
回数(コマ数)	9回(22コマ)
受講対象	外務省専門職(教養科目)コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

講義内容		
人文科学の範囲は非常に広いものです。高校までに学習した日本史・世界史・地理を中心に、有効に学習を進めるために、試験傾向を徹底的に分析し、点数が取れるよう本講義で説明します。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	【世界史】19世紀の世界情勢
2	3・4	【世界史】第一次世界大戦から戦後の世界
3	5・6	【日本史】明治時代
4	7・8	【日本史】大正時代から戦後の日本
5	9・10・11・12	【世界史】古代から中世、近世・近代
6	13・14・15・16	【日本史】古代から中世、江戸時代
7	17・18	【地理】地形・気候
8	19・20	【地理】農林水産業・工業・民族・人種・宗教
9	21・22	【地理】世界地誌

Syllabus

科目	自然科学
担当講師	平井 俊久
回数(コマ数)	8回(16コマ)
受講対象	外務省専門職(教養科目)コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

講義内容		
自然科学の問題は、高校で学習した範囲が基本になっています。数学・物理・化学・生物・地学と5科目ありますが、ある水準の事項を理解していれば合格に必要な点数が取れます。文系出身の人は敬遠しがちな科目ですが、化学・生物・地学は基本的に暗記系の科目ですし、物理も知識のみで解ける問題が増えているので安心して下さい。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	物理
2	3・4	物理
3	5・6	化学
4	7・8	化学
5	9・10	生物
6	11・12	生物
7	13・14	地学
8	15・16	地学

Syllabus

科目	数的処理
担当講師	平井 俊久
回数(コマ数)	26回(52コマ)
受講対象	外務省専門職(教養科目)コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、16問中11問以上の正答を目指す。

講義内容		
<p>数的処理は公務員試験に合格するためのカギとなる科目です。ジャンル・問題形式ごとのパターンを覚えていただき、基本的な解法をしっかりと身に付けていただきます。</p>		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	★入門講義 【整数】 1-1. 倍数と約数 1-2. N進法 1-3. 数列・規則性 【方程式・不等式】 2-1. 方程式・不等式 2-2. 不定方程式 2-3. 割合・比 2-4. 売買問題 2-5. 濃度計算
2	3・4	★入門講義 【文章題】 3-1. 速さ 3-2. 仕事算 3-3. 平均算 【場合の数】 【確立】 【図形】
3	5・6	★入門講義 【論理・命題】 7-1. 記号化で解く命題の問題 7-2. ベン図で解く命題の問題 【対応関係】 8-1. 2集合の対応関係 8-2. 3集合の対応関係
4	7・8	★入門講義 【順序関係】 9-1. 順位的順序関係 9-2. 数量的順序関係 【位置関係】 10-1. 平面配置 10-2. 円卓 10-3. 方位
5	9・10	★入門講義 【数量推理・操作手順】 12-1. 数量推理 12-2. 操作手順 【集合・その他】 13-1. 集合 13-2. 暗号 13-3. 嘘つき
6	11・12	【数的推理】 方程式・不等式・文章題①

Syllabus

7	13・14	【数的推理】文章題②
8	15・16	【数的推理】整数の性質
9	17・18	【数的推理】場合の数と確率
10	19・20	【数的推理】図形
11	21・22	基本演習①
12	23・24	【判断推理】集合と論理
13	25・26	【判断推理】順序関係
14	27・28	【判断推理】位置関係 ・暗号
15	29・30	【判断推理】対応関係 ・試合
16	31・32	【判断推理】証言 ・その他
17	33・34	基本演習②
18	35・36	【空間把握】正多面体
19	37・38	【空間把握】投影図とスライス法
20	39・40	【空間把握】平面図形と位相
21	41・42	【資料解釈】選択肢の表現
22	43・44	【資料解釈】選択肢の読み取り①
23	45・46	【資料解釈】選択肢の読み取り②
24	47・48	基本演習③
25	49・50	基本演習④
26	51・52	基本演習⑤

Syllabus

科目	文章理解
担当講師	西尾 俊哉
回数(コマ数)	5回(10コマ)
受講対象	外務省専門職(教養科目)コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、11問中7問以上の正答を目指す。

講義内容

文章理解の攻略はとにもかくにも分析的に読めるかどうかのカギを握っています。言い換えれば「コツ」をつかむ必要があるということです。課題文は単に読めればいいわけではありませんし、選択肢を絞るテクニックも重要になってきます。「読解」と「選択肢を絞る」という2つができてはじめて「文章理解」を得点源にすることができます。本講義でこうしたコツをお伝えします。

回数	コマ	講義予定
1	1・2	・現代文(趣旨把握問題)(内容合致問題)
2	3・4	・現代文(文章整序問題)(空欄補充問題) ・古文
3	5・6	・英文(趣旨把握問題)(内容合致問題)
4	7・8	・英文(その他の問題)(必要な文法知識)
5	9・10	・文章理解演習

Syllabus

科目	時事対策
担当講師	藤谷 浩史/與原 裕介
回数(コマ数)	3回(12コマ)
受講対象	外務省専門職(教養科目)コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	経済事情、社会事情、国際事情の講義をし、最新の時事を把握する。 教養試験の社会科学でも出題され、専門試験の一部でも出題される。

講義内容		
<p>ここで扱う内容は論文試験や集団討論でも頻出であり、面接試験でも知っておいた方がよい知識といえる。 公務員を目指す者であれば、全員受講していただきたい。</p>		
回数	コマ	講義予定
1	1・2・3・4	・時事対策(経済史・経済事情)藤谷
2	5・6・7・8	・時事対策(社会事情)與原
3	9・10・11・12	・時事対策(社会事情2コマ・国際事情2コマ)與原

Syllabus

科目	社会科学
担当講師	【web】黒田/山本/小沼/瀬田
回数(コマ数)	20回(40コマ)
受講対象	外務省専門職(教養科目)コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	全ての試験において基礎能力試験社会科学分野において、8割以上の得点を目指す。

講義内容		
<p>教養科目における社会科学は、実施に出題された問題を見てみると、生半可な知識では解けない、専門分野の政治学や経済学、社会学といった科目と同じような内容のものも多く、甘く見ていると痛い目にあう事になります。ただ、根底にあるのは、高校で学習する政治・経済、倫理・社会です。必要以上に恐れる事ありません。社会科学という非常に広範な科目について、公務員試験の問題に対応できるように講義を行っていきます。</p>		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	【法律】・法とは何か ・法の適用 ・日本国憲法の基本原理 ・日本国憲法と人権
2	3・4	【法律】・日本国憲法と人権
3	5・6	【法律】・日本国憲法と人権 ・日本の統治機構
4	7・8	【法律】・日本の統治機構 ・日本の地方自治
5	9・10	【法律】・行政法 ・民法 ・刑法
6	11・12	【政治】・政治学概論 ・政治制度論
7	13・14	【政治】・選挙制度論 ・政治過程論
8	15・16	【政治】・政治思想史
9	17・18	【政治】・行政学概論
10	19・20	【政治】・国際関係論概論
11	21・22	社会科学 演習
12	23・24	【経済】ミクロ経済学 ・無差別曲線 ・予算制約線 ・効用最大化 ・さまざまな無差別曲線
13	25・26	【経済】ミクロ経済学 ・需要曲線と供給曲線 ・需要の所得弾力性と価格弾力性 ・市場の失敗 ・リカードの比較生産費説
14	27・28	【経済】マクロ経済学 ・国民経済計算 ・国際収支統計
15	29・30	【経済】マクロ経済学 ・消費関数 ・総需要と総供給 ・投資関数 ・IS曲線
16	31・32	【経済】マクロ経済学 ・貨幣供給理論 ・金融政策 ・貨幣需要理論 ・LM曲線・IS-LM分析 ・古典派とケインジアン 財政学 ・財政理論 ・予算制度 ・租税 ・国債
17	33・34	社会科学 演習
18	35・36	【社会】労働問題
19	37・38	【社会】・社会保障 ・現代社会の諸問題
20	39・40	社会科学 演習